

## 床

私の内臓たちよ  
御苦勞さま  
御疲れさま

見捨てられた心臓  
苦行に次ぐ苦行  
もうお終いとするか

美しい死というものはない  
みすぼらしく  
喜劇的なものと決まっている

信仰とは怖れである  
絶望に怖れはない  
私の罪が求めていたものは違う

この掌を見てくれ  
仕事を奪われ  
為すべき事を探し回った掌

食物連鎖の中で捕食されることもなく  
単に疎外されただけの種族  
そんな、単なる残余の者を何と呼ぶ

かつて繁栄に必要なものは人口だった  
しかし今は不要であり、余分である  
選別が不可欠になっただけらしい

生贄として奉げられるべき者と

優性の保護

今や、生に尊厳はない

フランス革命と独立戦争を通じて

獲得された平等の概念は

既に邪魔になっている

意思を前提とする生というものに

そもそも無理があるんじゃないか

ニーチェよ、どう思うかね

ひとつ

ふたつ

みっつ

五感を奪うだけでなく

運動機能まで奪い

最後は——「お疲れさま」

ひとつ

ふたつ

みっつ

お疲れさま

(2013.2.27)